

# 粉中だより

紀の川市立粉河中学校 2月号

令和7年2月3日 発行 校長 船津 真理



## 春はもうすぐ!

「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る」と言われるように、早いもので、3学期も2月に入りました。

さて、2月は一年の中で寒さが最も厳しい季節ですが、2日に「節分」、3日には「立春」を迎え、暦の上では春が始まります。春と言えば、毎年、粉河地区で3月3日に「紀の川流し雛」が行われます。3月3日は、季節の変わり目としても知られていますが、この時期は、寒さから徐々に暖かさへと変わる重要な時期で、自然界では新しい命が芽吹き始めます。ひな祭りとは旧暦との関係は非常に深く、元々は旧暦の「二月節句」として祝われていたそうです。粉河地区ではこの日に、地域の方々が手作りした流し雛を棧俵(さんだわら)に乗せ、健康等を願う祭事です。先日、製作部の有志がその準備をお手伝いするため、粉河ふるさとセンターに行き、地域の方々に丁寧に教えていただきながら、お雛様とお内裏様の顔をきれいに描いたり、帯をかけたりして紙雛を完成させました。次回は2月末に棧俵を作る予定です。



また、ひな祭りは、桃の節句とも言われています。桃の花が開花する時期と重なるため、春の訪れを告げる行事とされ、また桃の花が邪気を払い、福を呼び込むとされているそうです。

3年生の卒業、公立受検の日まで約1か月。3年生全員が、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症に罹患せず、受検を乗り越え、素晴らしい春(福)を迎えることができるよう願っています。保護者の皆様には、今まで以上にお子様の健康管理にご留意いただき、お子様をサポートくださいますようお願いいたします。残り少ない学校生活と受検を無事に終えることができますように…。



3年生の卒業、公立受検の日まで約1か月。3年生全員が、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症に罹患せず、受検を乗り越え、素晴らしい春(福)を迎えることができるよう願っています。保護者の皆様には、今まで以上にお子様の健康管理にご留意いただき、お子様をサポートくださいますようお願いいたします。残り少ない学校生活と受検を無事に終えることができますように…。

## 清華大学附属中学生との国際交流

1月17日(金)、中国の北京市にある清華大学附属中学校から52名の生徒達が来校し、4限目に歓迎交流会を実施しました。約1週間という短期間で生徒会役員さん達が学校紹介動画やスライドを仕上げ、心温まる歓迎交流会を運営してくれました。歓迎交流会ではお互いの学校紹介をしたり、校歌を披露したりし、交流生の校歌披露の場面ではソロで歌う生徒がいることに、いつも元気な粉中生が驚いた様子でした。



また、給食時には各学級からたくさんの生徒が配膳のお手伝いに来てくれ、予定していた人数をはるかに超える給食風景になり、給食後も体育館に遊びに行こうと誘ったり、グラウンドで一緒にサッカーをしたりし、楽しいひと時を過ごすことができました。

6時間目には交流生が各教室に行き、タブレットを使ってお互いの国のことや文化のこと、学校生活などについて意見交換したり、数学を教え合ったり、書いた作文を読み合ったりするなどして授業に参加しました。



清華大学附属中学校の副校長先生が「言葉や考え方が違って、一緒に遊んだり、学習したりする様子を見ると、同世代同士の異文化交流が世界平和への近道なのではと感じます。」と話されていたことが印象深く、情報があふれる時代だからこそ、様々な情報に翻弄されず、自分自身の目で見ることや肌で感じること等の経験の大切さを改めて実感し、本当に有意義な交流となりました。

### 【学校評価アンケートについて】

先日、お願いしておりました「学校評価アンケート」にご協力いただき、本当にありがとうございました。

現在、保護者の皆さまからいただいたご意見を集計し、分析しているところです。今月14日(金)に学校運営協議会を持ち、生徒アンケート等と併せて会員の皆様にご協議いただき、学校評価を行う予定ですので、結果につきましては3月号で改めてお知らせいたします。

今後とも、ご支援、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。



